

救出作戦再評価の機運 ペルー公邸人質事件20年



リマの陸軍施設で救出訓練に使われた日本大使公邸の原寸大アブリカ内に立つセサル・バルキ大佐（右）と元特殊部隊幹部

17日（共同）

ペルーの日本大使公邸を左翼ゲリラ、トゥパク・アマル革命運動（MR・TA）のメンバーが占拠し、日本人らを人質に取った事件が軍特殊部隊の強行突入で解決して22日で20年。ゲリラを超法規的に処刑したとの疑惑に根強い批判がある一方、少ない犠牲にとどめた「世界で最も成功した人質救出作戦」を再評価する機運も出ている。

ペルーの日本大使公邸は数年前に売却し、門にはどこぞこの救出作戦時の銃撃の痕が残っている。

「作戦に参加できて満足だし誇りに思っている」。特殊部隊員だったセサル・バルキ大佐（43）は振り返る。事件発生の翌日に招集され、救出訓練を連日続けた。

「超法規的処刑」疑惑に批判

リマの陸軍施設で救出訓練に使われた日本大使公邸の原寸大アブリカ内に立つセサル・バルキ大佐（右）と元特殊部隊幹部

17日（共同）

作戦当日、ゲリラ側の人質は全員無事だと知らされ、激しく感動したことを覚えていた。

しかし事件を機にMR・TAは壊滅。フジモリ政権下で他の左翼ゲリラも

リマの高級住宅街サンイシドロ地区の一角にある旧公邸の跡地。四方を高い壁に囲まれた6千坪の広大な敷地を大使館は数年前に売却したが、いまだに更地のままだ。門にはどこぞこの救出作戦時の銃撃の痕が残っている。

「武力突入では通常、多くの死者が出る。もうだめだと思った」。小倉さんは死を意識した。特殊部隊員が2階の部屋に躍り込み、高さ1～1・25㍍の辺りを銃で掃射。床に伏せ、毛布をかぶるなどして事態が収まるのを待った。

月22日午後。いつものように体を動かすと階段を上り下りしていく人質の日本人を、同じ人質のペルーの警察関係者が制止した。2

階にいた大使館員（当時）の小倉英敬さん（66）がおかしいと感じていて、それを目撃した。だが、ペルー当局によるとゲリラは全員戦闘で死亡。「捕まえた裁判にかける

人質侵害事件で禁錮25年の刑に服していること

も、作戦の成果に影を落とした。米州人権裁判の決定は

突入部隊の武力行使については人質解放のためと容認、ゲリラの遺族への賠償は命じなかった。こ

のは当然だが、超法規的に殺害したとすれば許せない。20年を経ても、なお心に重くのしかかる光景だ。

小倉さんは約1年半後の98年12月に外務省を退職。研究者に身を転じ、今は神奈川大で教壇に立つ。事件の後遺症で集中力が続かず、苦労も少なくないという。

事件の背景には、西欧諸国の植民地主義から続く複雑な歴史があ

り、それが原因で

衰退し、同国でテロの脅威はほぼ過去の話となっ

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

功績をたたえたとみられ

としてきた。

「フジモリ氏の娘さん

に敬意を表したい」。ク

チンスキ大統領は20日、記念式典のスピーチで、

特殊部隊員らに勲章を贈ることを決めた。

人権侵害事件で禁錮25年

の刑に服していること

も、作戦の成果に影を落

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

衰退し、同国でテロの脅威はほぼ過去の話となっ

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

功績をたたえたとみられ

としてきた。

人権侵害事件で禁錮25年

の刑に服していること

も、作戦の成果に影を落

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

衰退し、同国でテロの脅威はほぼ過去の話となっ

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

功績をたたえたとみられ

としてきた。

人権侵害事件で禁錮25年

の刑に服していること

も、作戦の成果に影を落

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

衰退し、同国でテロの脅威はほぼ過去の話となっ

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

功績をたたえたとみられ

としてきた。

人権侵害事件で禁錮25年

の刑に服していること

も、作戦の成果に影を落

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

衰退し、同国でテロの脅威はほぼ過去の話となっ

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

功績をたたえたとみられ

としてきた。

人権侵害事件で禁錮25年

の刑に服していること

も、作戦の成果に影を落

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

衰退し、同国でテロの脅威はほぼ過去の話となっ

た。米州人権裁判の決定は

政府は今月ようやく

功績をたたえたとみられ

としてきた。



小倉 英敬さん

「死を意識」後遺症今も

窓外に見えた。
「武力突入では通常、多くの死者が出る。もうだめだと思った」。

小倉さんは死を意識した。特殊部隊員が2階の部屋に躍り込み、高さ1～1・25㍍の辺りを銃で掃射。床に伏せ、毛布をかぶるなどして事態が収まるのを待った。

「部屋に戻れ」。1997年4月22日午後。いつものように体を動かすと階段を上り下りしている人質の日本人を、同じ人質のペルーの警察関係者が制止した。2

階にいた大使館員（当時）の小倉英敬さん（66）がおかしいと感じていて、それを目撃した。だが、ペルー当局によるとゲリラは全員戦闘で死亡。「捕まえた裁判にかける

が出席しているとわざわざ紹介。間接的に父親の功績をたたえたとみられ

としてきた。

「フジモリ氏の娘さん

に敬意を表したい」。ク

チンスキ大統領は20日、記念式典のスピーチで、

特殊部隊員らに勲章を贈ることを決めた。